



本号の主な内容

- 2面 新連載【学会の目・眼・芽】 荻茂壽太郎
平成 21 年度都市・地域整備局関係予算配分
- 3面 【随想】 造園建設産業の“ゆくえ” 小泉直介
都市公園事業・緑地環境整備関係予算配分
- 4面 【協会だより】「街路樹剪定士」認定研修会を開催
【緑滴】 病葉千葉 佐藤善一 【事務局の動き】



①東京・弘済会館で行われた通常理事会の模様（3月26日）
②挨拶する佐藤四郎会長（左）と、小林昭公園緑地・景観課長

平成20年度 第2回

通常理事会を開催

平成21年度予算など7議案を審議

平成20年度第2回通常理事会が3月26日、東京・千代田区麹町の弘済会館で開催され、平成20年度補正予算、平成21年度暫定予算等について審議した。

理事会では、はじめに佐藤四郎会長が挨拶。「造園建設業を取り巻く環境は、厳しく苦しい経営を余儀なくされている。一環、環境の世紀とされる中で、造園建設業界には、強いフォロワーの風が吹いており、これを具体的な成果に結びつけるために、時代の主役産業となることを目指す」と述べた。

続いて、国土交通省都市・地域整備局の小林昭公園緑地・景観課長から来賓のご挨拶をいただいた。

議事では、平成20年度補正予算（案）、平成21年度暫定予算（案）、就業規程の一部改正について等の7つの議案が審議され、承認された。

日造協 成次男前会長、藤巻司郎副会長
東京、横浜で相次ぎ記念祝賀会を開催
黄綬褒章の受章を祝う
関係者多数集い盛會に



謝辞を述べる成次男氏

日造協副会長・藤巻司郎氏の黄綬褒章受章祝賀会は3月18日、横浜市西区の横浜ロイヤルパークホテルで行われた。

祝賀会は須磨佳津江さんの司会で、発起人を代表して、佐藤四郎日造協会長が、「日造協の筆頭副会長など、数々の要職に就かれ、横浜市のみどり税についても、大変「尽力された」と聞いている。造園が環境産業として力を発揮するためにも、今後とも活躍いただきたい」と挨拶した。

次いで、涌井史郎桐陰横浜大学特任教授、和田新也日造協関東・甲信総支部長らが壇上の花を飾る。来賓の野呂田芳成衆議院議員、小此木八郎衆議院議員、加藤利男国土交通省都市地域整備局長、阿部守一横浜市長、進士五十八東京農業大学教授が祝辞。

藤巻氏は「受章は内助の功といわれるが、私が2、妻が3の5%くらい。あとは皆さんのものだ。社会に役立つよう一杯頑張りたい」と謝辞を述べた。

拍手の中、登壇した藤巻司郎氏

樹林

1. キャッチボールが出来る公園づくりが、野球の衰退を救う
造園人の先駆者は、今頃の子どもは、野球をする子が殆んどいなくなつて、サッカーする子どもが随分増えたことから、10年後は、サッカーが野球にとって代わると思いますよ、と関係者に伝え、この言葉に危機感を感じたプロ野球機構が、キャッチボールが出来る公園づくりに力を入れました。

2. 幼稚園の園庭の芝生化が、小学校の校庭芝生化を飛躍的に伸ばす
関東地区では校庭芝生化が進んでいます。地方ではまだまだの様相です。小さな園庭の芝生化を進めると、園児が小学生になり、保護者も「みどりの芝生が何故無いの？」今、幼稚園の芝生化を進めていけば、10年後には、

小学校の10%が芝生化されていると思います。私も造園人は、今10年先を見た行動をしていく必要があると考えています。

3. 花と緑にあふれた街づくりが、ゆつくり、ゆつたり、それでいて充実感のある生活をもたらす
私がいつも言っている言葉に「花は

子どもに伝えたいこと

比治山大学非常勤講師

梶岡 幹生



人の心にやさしさを育み、緑は人を元気にする」というのがあります。10年後を見据えて行動していく時期が今なのです。私達造園人が、小学校の総合学習の時間に出向きとどろろ話をしたいきましょう。

私は年30時間位、話をさせて頂いています。最近よく話をするのを2例

①「世界の七不思議」イースター島の謎を解く」
私が小さい時に聞いた世界の七不思議の中で、一番興味を持ったものです。

②「世界の七不思議」イースター島の謎を解く」
私が小さい時に聞いた世界の七不思議の中で、一番興味を持ったものです。

000の人が、文化的な生活をしていたのです。信仰の対象のモアイ像、大きなものは100t位あります。約1000体のモアイ像が残っているのです。

カヌーを作り魚をとる。モアイ像を運ぶのに樹を使う。いつのまにか森の樹が無くなり、森の動物や昆虫もい

「プロフィール」産業振興センターの技術アドバイザー・県の夢配達人・小学校の総合学習の授業を担当。環境問題（ホテルの里づくり・ピクトロ）の講演や街づくりの実践指導に取り組み。建設大臣表彰・黄綬褒章など受賞。（株）カシオ・代表取締役、比治山大学非常勤講師、63歳

これは私も現代人も考えてみる大切なことなのです。
——という話をしています。
10年後大人として活躍する子どもにこんなことを伝えていく行動をスタートさせましょう。

お知らせ

平成 21 年度
通常総会
講演会・懇談会

6月22日（月）
15:00～
ルポール麹町

～～～～～～～～
多数の会員の皆様のご参加をお待ちしています

(社)日本造園学会と日造協の包括協定で相乗効果を図る

アカデミックスな視点から造園を考える

新連載 開始

(社)日本造園学会と日造協 本号からスタートする新連載「学会の目・眼・芽」は、学会の目(視点)から、環境分野における社会貢献や人材育成を行うための包括協定を締結(43号既報)し、学会の「造園技術報告集」、日造協の「技術情報共有発表会」などにおける連携を進めている。

本号からスタートする新連載「学会の目・眼・芽」は、学会の目(視点)から、環境分野における社会貢献や人材育成を行うための包括協定を締結(43号既報)し、学会の「造園技術報告集」、日造協の「技術情報共有発表会」などにおける連携を進めている。

学会の目・眼・芽

第1回

(社)日本造園建設業協会の会員の皆様にあらためてご挨拶申し上げます。私ども日本造園学会は昨年7月に日造協と包括的協定を結び、お互い組織としての連携を強めることになりました。ご承知のようにこれまでも会員個人間の交流はいろいろとありましたが、今回は個人を超えて組織間で協働することになったわけです。このことによりたとえば総支部単位などのフォーマルな交流がはじまり、目に見える日常的な成果が出てくるものと期待されます。この度、貴重な紙面に「学会の目・眼・芽」のコーナーをいただくことになりました。

閉塞した社会を打破するためには風穴を開ける努力が必要だと思いますので、その一助となれば幸いと思ひ筆を執りました。そこで第1回は「竹輪の耳」として綴ってみました。

熊本県八代市に温泉地として知られる日奈久という町があります。この名産は竹輪です。そこで「竹輪の耳」とは何でしょう。講演会やシンポジウムなどいろんな話を聞く機会が大変多くなりました。しかしそうしたイベントに参加して聞いたことがきちんと充電されて、各人の学び足しや学び直しに生かされているかという疑問の問いかけです。確かに参加者は増えているが、その効果は如何にということです。そうしたことから、私が最近良く使うのが「竹輪の耳」の表現です。

竹輪は穴が開いていますから、右から左に通

「竹輪の耳」にならないように

向けて、協定に示した「身の空間に広く関わる造園事業は、社会的認知が不可欠で、現場や産業界からのアプローチに加え、学術的な見地、科学的な考え方がこれまでに求められている。本連載が、その一助となるよう学会のご協力をいた

向けて、協定に示した「身の空間に広く関わる造園事業は、社会的認知が不可欠で、現場や産業界からのアプローチに加え、学術的な見地、科学的な考え方がこれまでに求められている。本連載が、その一助となるよう学会のご協力をいた

り抜ける。要は話を聞く機会は造園CPDなどあつて格段に増え、記録には残る仕組みになっているが、記憶にはしつかり残らず、身に付いていないのではないかという疑問です。ならばどうするかということをご2つ提案します。2つのうちの1つは聞き手の側、もう1つは送り手の側への注文と提案です。

まず1つには、聞き手の側では聞き放しにしないこと、聞いただけで安心しないことです。聞いたことや感じたことを記録に残し自分のポートフォリオ(紙挟み)に組み込むことが大事だと思ひます。

大学でもキャリア形成教育に力を入れるようになりました。従来の就職センターもキャリアセンターに名前を変えています。私の大学では全学生がキャリアフォリオを携えることになっています。他でもなく優れた人材を養成するためです。

造園の職場でも人手でなく人材が必要で、人材の育成で最も重要なのは、何よりも本人の向上心です。日常の仕事もそうですが、CPD(継続的な専門職能開発)等に参加したときの感想などを必ず忠実に記録するようにしましょう。

2つには、主催者の心得でありやるべきことです。大変面倒でお金もかかることですが記録集を必ず作成し、一度聞いた内容を再度確認し

人事異動

日造協事務局(3月31日) 退任 小林脩(常務理事兼事務局長) 退職 櫻井廣明(総務課長) (4月1日付) 事務局長兼総務部長 本間博文(杜街づくり区画

日造協事務局(3月31日) 退任 小林脩(常務理事兼事務局長) 退職 櫻井廣明(総務課長) (4月1日付) 事務局長兼総務部長 本間博文(杜街づくり区画

整理協会総務部長 国土交通省関係(4月1日) 辞職 水口辰夫(関東地方整備局国営常陸海浜公園事務所長) 関東地方整備局国営常陸海浜公園事務所長 大日方尚巳(関東地方整備局東京湾岸道路調査事務所長) 辞職 廣田龍也(関東地方整備局国営武陵森

整理協会総務部長 国土交通省関係(4月1日) 辞職 水口辰夫(関東地方整備局国営常陸海浜公園事務所長) 関東地方整備局国営常陸海浜公園事務所長 大日方尚巳(関東地方整備局東京湾岸道路調査事務所長) 辞職 廣田龍也(関東地方整備局国営武陵森

持続可能なまちづくりに3786億円

安全で安心なまちづくり、地球環境問題への取組みなど推進

平成21年度国土交通省都市・地域整備局関係予算配分概要

主要重点配分事項は、(1)地域の活性化に向けた取組の推進として、「持続可能なまちづくりの推進」に3786億円を配分。

予算は、厳しい財政状況の中、限られた予算で最大の効果の発現を図る観点から、都市・地域整備局が抱える重要課題に対応する「地域の活性化に向けた取組の推進」「安全で安心なまちづくりの推進」「地球環境問題に対する取組の推進」に関する3つの事業に重点を置くこととし、質の高い社会資本整備を効率的・効果的に推進することとしている。

また、都市基盤が貧弱な既成市街地における基盤整備や街区の再編及び中心市街地活性化等に資する都市づくりの推進では、都市浸

また、都市基盤が貧弱な既成市街地における基盤整備や街区の再編及び中心市街地活性化等に資する都市づくりの推進では、都市浸

安全で安心なまちづくりの推進では、都市浸

緑地・景観課企画専門官 藤原和彦(都市・地域整備局まちづくり推進課長補佐) 辞職 則勢(四国地方整備局国営讃岐まんのう公園事務所長) 四国地方整備局国営讃岐まんのう公園事務所長 清家基哉(四国地方整備局企画部技術開発調整官)

緑地・景観課企画専門官 藤原和彦(都市・地域整備局まちづくり推進課長補佐) 辞職 則勢(四国地方整備局国営讃岐まんのう公園事務所長) 四国地方整備局国営讃岐まんのう公園事務所長 清家基哉(四国地方整備局企画部技術開発調整官)

| 都市公園事業予算概要 (単位:億円) | | | |
|--------------------|-------|-----|-------|
| 区分 | 配分額 | 本省分 | 一括分 |
| 都市公園事業等 | 2,008 | 765 | 1,243 |
| 直轄(国営公園) | 327 | 327 | — |
| 補助 | 1,681 | 438 | 1,243 |
| 都市公園等 | 1,545 | 438 | 1,108 |
| 緑地環境整備 | 135 | — | 135 |

| 国営公園箇所別表 (単位:百万円) | |
|-------------------|--------|
| 区分 | 配分額 |
| 国営公園整備費 | |
| 国営武蔵丘陵森林公園 | 571 |
| 国営飛鳥・平城宮跡歴史公園(仮称) | 1,618 |
| 淀川河川公園 | 485 |
| 海の中道海浜公園 | 1,174 |
| 国営昭和記念公園 | 1,077 |
| 国営常陸海浜公園 | 535 |
| 国営木曽三川公園 | 1,916 |
| 国営みちのく杜の湖畔公園 | 730 |
| 国営備北丘陵公園 | 300 |
| 国営讃岐まんのう公園 | 660 |
| 国営越後丘陵公園 | 1,232 |
| 国営アルプスあつみの公園 | 1,631 |
| 国営吉野ヶ里歴史公園 | 600 |
| 国営明石海峡公園 | 1,159 |
| 国営東京臨海広域防災公園 | 2,685 |
| 小計 | 16,373 |
| 滝野すずらん丘陵公園 | 1,621 |
| 国営沖縄記念公園 | 3,153 |
| 合計 | 21,147 |
| 国営公園維持管理費 | |
| 国営武蔵丘陵森林公園 | 920 |
| 国営飛鳥・平城宮跡歴史公園(仮称) | 225 |
| 淀川河川公園 | 242 |
| 海の中道海浜公園 | 912 |
| 国営昭和記念公園 | 1,064 |
| 国営常陸海浜公園 | 739 |
| 国営木曽三川公園 | 1,201 |
| 国営みちのく杜の湖畔公園 | 532 |
| 国営備北丘陵公園 | 651 |
| 国営讃岐まんのう公園 | 484 |
| 国営越後丘陵公園 | 510 |
| 国営アルプスあつみの公園 | 696 |
| 国営吉野ヶ里歴史公園 | 469 |
| 国営明石海峡公園 | 441 |
| 小計 | 9,086 |
| 滝野すずらん丘陵公園 | 772 |
| 国営沖縄記念公園 | 1,731 |
| 合計 | 11,589 |
| 国営公園合計 | 32,736 |

所別数では、東京都が多い54箇所、大阪府35箇所、北海道33箇所、愛と沖縄県33箇所、神奈川県32箇所、川所と30箇所

和歌山県が1箇所、鳥取県と徳島県が2箇所、岡山県と香川県、大分県が3箇所となつた。

上手くすれば、造園施工業界の発展の「檄文」にならんことを願つて、関係の方々に論文コピーをお送りした。それなりの反応を頂戴したが、特に訴求の対象であつた造園施工業の若

1. 現在の公共造園工事の発注システムは何を求めているか。

公共造園の仕事の割合は大きかったし、施工

実力と特質に自信を持って

すなわち、施工者の能力が認められ「自主施工の原則」の下に、大きく任された範囲のなかで自主的に仕事をする時代になっている。

高度成長に伴い仕事が増大したが、発注者・

2. 施工業界の施工技術に自信を持って

膨張する事業量を処理するなかで、公共造園発注者から様々な施工管理上の規範が示された。施工者は、これを解決しつつ自らの施工技術として身に付けてきた。

建設業法で28種ある工事業の中で、売上高は全建設業の中の1%にも満たない低さだが、技術の総合性と充実が認められ総合工事業として

この制度上の位置づけと、植物などの自然素材を主材料とする特質をもつ唯一の工事業である。指定建設業の一つとなっている。

ることに誇りを持ち、これを活かしていかなければならない。

その他日造協が中心になって開発した施工技術、システムなど誇りうるものが多く、業界と

広い。

3. 造園の特質を活かすことを再確認せよ

昔の日本庭園は、資材に「自然材料・地場材料」を用い、作る方法は「自然に順応した工法」をとった。この造園の特質は、近代造園建設に

においても活かされている。初心というか原点に立ち返ってこの特質の涵養と發揮に努めることで、業の持続が成り立つこととなる。

4. 施工現場従事者の造園感性を信頼し涵養

造園空間とは、美的で快適な空間である。これを最終的に達成するのは現場で直接作業する

従事者の美意識である。
夢窓疎石、小堀遠州など名作庭家の業績も当

夢窓疎石、小堀遠州など名作庭家の業績も当然だが、最終の仕上げに従事した現場作業者の美意識が出来栄を左右してきことも事実である。昔も今も、これは造園の特質として存在する。

現代の造園でも不定形の自然素材を多く使う。優れた設計と指導管理に加えて現場従事者

の造園判断が影響する。現代では、現場デザインとして、設計図書に表現できないことを作業者の美意識にゆだねている。

この感性の涵養が大事だが、この発現の方策と評価の仕方を訴えることも必要な仕事であるし、これが結果として業の確立に繋がる。

手引き改訂編集会議